

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	事業所内では、ユニット会議で流行の病気等の資料を参考に勉強しているが、事業所の都合により外部の研修を受けさせることが出来ない。	内外部の研修を受ける機会を確保する。	内部・外部の研修等の学ぶ機会を設け、そこで得た事を職員で共有していく。	未定
2	2	広報の配布はして頂けるようになり、地域との更なる交流を図って行きたいが、現状は地域性があり、挨拶程度に終わっている。	地域の一員としての交流。	利用者との散歩中に空き缶拾いやゴミ拾い等のボランティア活動に取り組んでいく。	未定
3	4	運営推進会議について、現状では概ね2ヶ月に1回開催されている。又地域からの参加者も少なく、毎回同じ利用者に参加して頂いており、内容も毎回同様な傾向である。	運営推進会議の定期的な開催、毎回別の利用者の参加、地域包括支援センターや民生委員からの参加者、内容の工夫等の充実。	開催日を毎2ヶ月後の第何曜日というように決めておく。利用者への声掛け。地域包括支援センターや民生委員への働きかけ。多種多様な内容を考えていく。	未定
4	37	夜間の避難訓練は実施しておらず、地域の協力も築いていない。	地域の消防団の参加、夜間の避難訓練と地域協力への働きかけ。	夜間を想定した避難訓練の取り組みと、地域の一員として認められるよう交流を図っていく。	未定
5	14	入居者の人権尊重の為に、職員に対して、人権教育や啓発活動にまだ取り組んでいない。	人権教育、啓発活動への取り組み。	内部・外部の研修等の学ぶ機会を設け、そこで得た事を職員で共有していく。	未定

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。